

## 新しく上人にお目にかかる心地

京都市

藤井 実応

浄土宗管長  
知恩院門跡

笹本戒浄上人とお名前を申上げるだけで、私は上人のあの相好円満、法悦に満され、諄々と御説法下された尊いお姿が彷彿として浮んで参ります。

はじめて拝眉の栄をえたのは学生（宗教大学）の頃、三島子爵邸の別時念仏会であったと思います。同信の方々が私共学生に対しても実に丁寧に親切によるこんで迎え下されたこと、上人の御説法に接し、その気高いお顔お姿に頭の下る思いがし、私共に対しても謙譲な態度で親切にわかるように御導き下さいました。

また昔、東京の布教師養成所の学生さんを引きつれて、鎌倉の建長寺へ坐禅に通ったこともありました。

その帰りに大仏殿に立ち寄りました時、笹本上人が折柄いらっしゃいまして、「パン」と一弾指なされ「いかがですか、悟りが開けましたか」と仰言いました。それで「ハア」とだけ答えて、頭を下げた事がありま

した。

それから笹本上人様御指導の信州唐沢山の夏のお別時の時、東京の橋本徳三郎様からの依頼で何回も大木魚を担当したり、維那をつとめたり致しました。別時の一座には燃ゆるような信仰の雰囲気があったようでした。出来るだけ機会を得ては御導きを頂いてきた一人です。